

集会案内

日曜日

礼拝 1:45pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinenihongokyokai.org

榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話 (714) 234-4778

Eメール: sugimura1950@gmail.com

◎石叫 ■

「辻本清臣牧師」

数年先に「北米宣教百五十周年記念誌」を発行するが、その一環として本教団引退牧師の辻本清臣師にお会いし、以下のような貴重な体験談を伺った。

アメリカに来る前、私は島根県の大社に住んでいました。そこに開拓伝道のために山元ロイ先生夫妻が東京から遣わされたのです。やがてご夫妻に最初の赤ちゃんが生まれたのですが、間もなく亡くなりました。悲惨なのは、教会の目の前に病院があり、そこに駆けこんだのですが、クリスチャンだからというので、相手にされなかったのです。けれども、二人は「一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それはただ一粒のままである。しかし、もし死んだら、豊かに実を結ぶようになる」(ヨハネ一・24)という聖書のお言葉を信じてお葬式を出しました。その列が私の家の前を通り、その時、私は初めて十字架を見ました。私はやがてその教会に導かれ、罪を告白して、信仰生活が始まりました。

山元先生が最初におっしゃったことは、「神様に赦していただいたんだから、辞書を盗んだことを本屋さんに行つて謝つて来なさい」ということでした。私は牧師さんのおっしゃることをそのまま受け止めて、本屋さんに謝りに行きました。すると、本屋さんの主人が「ちよつと待つて」と言つて私を待たせてどこかに行きました。暫くすると本屋さんの前に黒い車が止まりました。当時、大社には黒い車が二台ありました。一台は町長さんの車で、もう一台は署長さんの車でした。降りてきたのは署長さんでした。私はつぎり今晚捕まえられて牢屋に入れられるんだらうなと思つていたので、署長さんは言いました。「今はこんな時代だから、本屋で物がなくなることは頻繁にあります。けれども誰一人謝りに来た人などいません。あなたは謝りに来た最初の人です。こういう時代だからこそ、この美談を伝えるべきです」と。そして翌日の新聞にこの話が載つたのです。その翌日、もう一台の黒い車が私の家の前に止まりました。それは町長さんの車で、「お昼ご飯を食べに来なさい」と言われました。無理やりに謝りに行かされた感じでしたのに、却つてそれが証しになったのです。

何という痛快な話であろうか！ 謝罪は容易ではないが、それは心の重荷を取り去るのみか、相手の心を開くことでもある。それが本来の証しである。

Rev. Tsukasa Sugimura

【わたしたちの教会の歩み】

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、榊原宣行牧師、加藤伸江姉、佐藤裕士兄と信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをしております。

【ミッション ステートメント】

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従つて宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。